

東大野球部

New! メールマガジン Vol.19

じあいらび

3月に入り、寒さが徐々に和らぎ、日差しの暖かさに春を感じるようになって参りました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

2月末から始まったオープン戦、初戦の青山学院大学戦では冬の練習の成果を発揮し大勝することが出来ました。

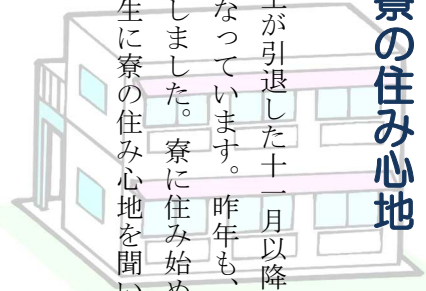
また本日から宮崎合宿が始まりました。合宿中は3試合オープン戦が行われる予定ですので、お近くの方は、是非球場へ足をお運びください。

東大野球部今後の予定

- 3月9～20日 宮崎合宿
- 12日 vs 福岡大@久峰野球場 10:00～
- 13日 vs 名城大@久峰野球場 10:00～
- 16日 vs 西南学院大@宮崎IVYスタジアム 13:00～
- 22日 vs 読売ジャイアンツ@ジャイアンツ球場 12:30～
- 23日 vs 中央大@中大球場 13:00～

1年生に聞く、寮の住み心地

東大野球部では、四年生が引退した十一月以降に、一年生が入寮することになっています。昨年も、新たに8人の一年生が入寮しました。寮に住み始めて3か月余り、そんな一年生に寮の住み心地を聞いてみました！



飯嶋洋平 (捕手・日比谷)

3人部屋と狭さとは言ってもありませんが、その中でいかにスペースを上手く使い共存していくかについてよく考えるようになりました。

井坂肇 (投手・日比谷)

部屋は3人部屋で狭く快適とは言えませんが、生活に困るようなこともなく、安定しないベッドの上でも熟睡出来るようになりました。寮食もおいしいです。最近はお前日にゲーム大会をするのが習慣になっています。

黒沢俊哉 (内野手・渋谷幕張)

3人部屋なので使えるスペースはやはり狭いです。相部屋の2人に部屋をきれいにするようによく怒られますが、それ以外は一年生どうしなので気を使うことなく楽しく生活しています。

鈴木翔太 (投手・時習館)

一誠寮では朝晩の食事が出ます。特に朝食は、一人暮らしだった頃は時間がなくて軽く済ませてしまうことが多かったのですが、寮に入って朝しっかり食べてから練習に行けることは大きなプラスになっています。

紺野大地 (外野手・米沢興譲館)

寮に入る前は共同生活に不安もあったのですが、毎日一緒にいるので野球について談義したり、休みの日にはみんなで食事に行ったりとても快適に過ごしています。

藤倉皓一郎 (外野手・海城)

最初は住み心地悪そうでしたが、今では快適です。寮食はおいしいし、先輩との相部屋も問題なく、楽しいです。なによりお前日にみんなでゲームするのは最高です。寮は基本的に楽しいですよ。

田中秀明 (マネージャー・半田)

部屋は狭いですがゲームなどをして盛り上がりがあります。3人部屋で生活していると生活リズムがみんな同じような感じになってきます。まかないさんの作ってくださる寮食を食べるのが日々の楽しみです。

やはり仲間たちとの共同生活は楽しいようですね！狭く快適とは言えないかもしれませんが、とても充実した時間をみな過ごせているのだと感じます。

今月の注目選手！ (第七回)

主務・副務対談！

今回は野球部を陰で支えている琴賀岡主務と、吉津副務を特集致します！普段はあまり表に出る事のないマネージャーが、思いの丈を語ります。

〇〇ン戦はいい

琴賀岡「今年は結構いけるんじゃないかな。最上級生を中心に、戦力がそろっている。岩崎(主務)がいてもいいから、荒木、竹内、中村、伊藤(学生コーチ)などもついても助けられている同期(本)に恵まれていると思う。」

吉津「具体的に言っても、下級生の時からレギュラーで試合に出ている田中とかが内海的な感じもあって、皆が勝つ方向かっけしている雰囲気がある。何もしていない人というのはいない。」

琴賀岡「その意味では本(吉)取ってほしいけど、なんかしゃべってないかな。今の空気は少なからずいいと思う。」

〇マネージャーの成長はいい

琴「毎日良かったなと思う。褒められるのもいいから、仕事をこいねばチームの後(立場)がないよな気がする。誠心誠意でやればチームには損はないと思うし、まあそればかりじゃなく、仕方なくやらせてくれる。そういう主務的行動はいいから大事な事かと思う。」

吉「マネージャーとは絶対必要な人間。正直言って誰でも出来る仕事もあるけれど、逆に言えば誰かがやらなくてはならない仕事もあるわけだ。それをマネージャーのチームのためにも思っている。あは、そんな人に出会ったことが本

に良かったと思う。いい人が多いので、助けられていると思う。」

〇今後の課題

琴「ひで(新2年マネージャー)を最強のマネージャーにする(笑)。以前の主務の方々が培ってきたノウハウをしっかりと下の世代に伝えたい。当然の事でも、結構疎かになっているような気がするのでも、そのようなことからやはりきちんとしていってほしいと思う。あつお年もすれば(東大野球部創部)100周年。それに向けて今私たちが出来ることをやり、未来のマネージャーが楽に仕事が出来るようにシステムを作っていく。」

吉「そうですね。(当面の)絶対的な課題としては、(野球部活動の)環境の整備ですね。球場の芝がどれだけ整備できるか、あとは寮の環境整備とかしていきたい。芝はお世辞にも良い状態ではないから僕が出来るよう頑張って、皆が野球に専念できるようにしたい。」

〇野球人生について

琴「僕は全然野球はやっていないけど、見ているだけでも楽しい。時々羨ましく思って部員にバカにされたりもするけれど、六大学で野球を間近で見られるというのは本当に幸せなことかなと思う。」

吉「小学校から野球をやっていたんですけど選手としての経験はなかったけれど、マネージャーになっている人にお世話になっている。特に高校の部長はたっちゃんの人だと思っていちゃいけない。今思っているなかに動いていたのだから、(僕が野球でできなかったもの)そういう人たちのおかげだったのだと思います。そういう視野が広がっていいかなと思う。(六大学野球では)プロに行くような人な感じの辺を歩いているので、そのような世界を感じることが出来る良かった。あと、単純に六大学野球は面白い。」

編集後記

本日の特集はいかがでしたか？1年生の寮生活はとも楽しく充実しているという印象を受けました。本日から宮崎合宿が始まります。新燃岳の噴火による火山灰や不安定な天候など不安要素も多いですが、春のリーグ戦での勝利ただひとつを目指して、日々練習に励んでまいりたいと思います。

今後ともご声援のほど、よろしくお願い致します！

↓ 吉津副務 (左) と 琴賀岡主務 (右)



お問い合わせ先

〒113-0023
 東京都文京区向ヶ丘1-5-9 一誠寮
 TEL&FAX 03(3811)5800
 メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等がございましたら上記連絡先までご連絡下さい。

